

平成29年度  
千葉県国民保護共同実動訓練の概要

平成30年1月

内閣官房

千葉県

千葉市



## 目次

1 訓練の概要	1
(1) 目的	2
(2) 実施日時	2
(3) 想定	2
(4) 主な訓練実施場所	2
(5) 各サイトにおける訓練項目	5
(6) 参加機関等	6
(7) 訓練評価	7
(8) 国民保護研修会	8
2 訓練の流れ（シナリオ）	9
3 各サイトにおける訓練内容等	11
(1) 幕張メッセ（幕張イベントホール）における訓練	12
(2) ワールドビジネスガーデンにおける訓練	19
(3) 医療機関における訓練	21
(4) 幕張コミュニティセンターにおける訓練	24
(5) 千葉県総合教育センターにおける訓練	27
参考1 過去に実施した国民保護共同実動訓練について	28
(1) 京都府国民保護共同実動訓練（平成28年度）	28
(2) 北海道国民保護共同実動訓練（平成27年度）	29
参考2 国民保護あれこれ	30
参考3 国民保護ポータルサイト	43



# 1 訓練の概要

(1) 目的

国民保護法に基づき、国、地方公共団体、その他関係機関及び地域住民等が一体となった共同の実動訓練を実施し、関係機関の機能確認及び関係機関相互の連携強化を図るとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を図る。

(2) 実施日時

平成30年1月24日(水) 10:00~13:30

(3) 想定

幕張メッセで開催される国際スポーツイベントに際し、幕張イベントホール内において化学剤(サリン)が散布され、多数の死傷者が発生する。その後、JR千葉駅等に爆破予告がなされ、ワールドビジネスガーデンで不審物(爆発物)が発見される。

(4) 主な訓練実施場所

ア 幕張メッセ(幕張イベントホール)

(千葉県美浜区中瀬2-1)

- ・初動対応訓練  
(避難、救出・救助等)
- ・除染、応急救護訓練
- ・被災者搬送訓練
- ・現地調整所運営訓練



イ ワールドビジネスガーデン

(千葉県美浜区中瀬2-6-1)

- ・初動対応訓練  
(避難、爆発物処理)
- ・被災者搬送訓練



ウ 千葉県救急医療センター

(千葉県美浜区磯辺3-32-1)

- ・被災者(化学剤曝露者)受入訓練
- ・医療救護訓練
- ・遺族等支援訓練



エ 千葉大学医学部附属病院

(千葉市中央区亥鼻 1-8-1)

- ・被災者（化学剤曝露者）受入訓練
- ・医療救護訓練



オ 幕張コミュニティセンター

(千葉市花見川区幕張町 3-7730-4)

- ・救援訓練（避難所運営訓練）



カ 千葉県総合教育センター

(千葉市美浜区若葉 2-13)

- ・合同対策協議会運営訓練





図1 主な訓練実施場所の配置

(5) 各サイトにおける訓練項目

ア 幕張メッセ（幕張イベントホール）

(ア) 初動対処訓練

- ・ゾーニング
- ・被災者の避難誘導、救出・救助
- ・施設管理者等による初動措置
- ・周辺広報、交通規制等

(イ) 除染、応急救護訓練

- ・除染前トリアージ
- ・除染処置（乾的・水的除染）
- ・搬送トリアージ（生理学的、解剖学的トリアージ）
- ・救護処置

(ウ) 被災者搬送訓練

- ・救急搬送
- ・ヘリ搬送
- ・事態認定下におけるバス搬送

(エ) 現地調整所運営訓練

イ ワールドビジネスガーデン

(ア) 初動対処訓練（避難、爆発物処理、周辺広報、交通規制等）

(イ) 被災者搬送訓練（バス搬送）

ウ 医療機関

(ア) 被災者受入訓練

- ・被災者（化学剤曝露者）の受入準備
- ・被災者（化学剤曝露者）の収容

(イ) 医療救護訓練

(ウ) 遺族等支援訓練

エ 幕張コミュニティセンター

救援訓練（避難所運営訓練）

- ・避難所の供与
- ・給食
- ・被災者の心身への配慮
- ・安否情報収集

オ 千葉県総合教育センター

合同対策協議会運営訓練

(6) 参加機関等

ア 主催

内閣官房、千葉県、千葉市

イ 指定行政機関

内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省、国土交通省、防衛省

ウ 指定地方行政機関

関東管区警察局

エ 指定公共機関

日本赤十字社（千葉県支部）

オ 指定地方公共機関

一般社団法人千葉県バス協会

カ 警察

千葉県警察

キ 消防

千葉市消防局

ク 自衛隊

陸上自衛隊東部方面隊（第1師団基幹）、高射学校、第1空挺団、海上自衛隊横須賀地方隊、海上自衛隊第21航空群、航空自衛隊航空総隊、航空自衛隊中部航空方面隊、自衛隊千葉地方協力本部

ケ 海上保安庁

千葉海上保安部、羽田航空基地

コ 医療機関

千葉県救急医療センター、千葉大学医学部附属病院、国保直営総合病院君津中央病院（千葉県ドクターヘリコプター）、国立病院機構千葉医療センター、千葉市立海浜病院、千葉市立青葉病院、千葉県精神科医療センター、船橋市立医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、国保松戸市立病院、成田赤十字病院、日本医科大学千葉北総病院、千葉県循環器病センター、独立行政法人労働者安全機構千葉労災病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、東京女子医科大学附属八千代医療センター、総合病院国保旭中央病院、東千葉メディカルセンター、社会福祉法人太陽会安房地域医療センター、医療法人鉄蕉会亀田総合病院

サ その他関係機関等

公益財団法人日本中毒情報センター、株式会社幕張メッセ、三井不動産株式会社（ワールドビジネスガーデンビル管理事業者）、公益財団法人千葉市国際交流協会、国際医療福祉専門学校、千葉科学大学、千葉県消防学校、千葉県鶴舞看護専門学校、帝京平成大学

(7) 訓練評価

下記体制により、外部有識者による評価を実施する（敬称略）。

<委員長>	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科	室 崎 益 輝
<委員>	東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター	大 友 康 裕
<委員>	東京消防庁警防部	木 下 修
<委員>	警察庁警備局警備課	倉 石 浩 之
<委員>	NPO法人レスキューストックヤード	栗 田 暢 之
<委員>	京都第一赤十字病院基幹災害医療センター	高 階 謙 一 郎
<委員>	陸上自衛隊化学学校	柳 澤 昌

(8) 国民保護研修会

国民保護について一層の理解を促進するとともに、今回の訓練の円滑な実施及び訓練参加機関相互の認識の共通化、訓練効果の増大等を図ることを目的として、訓練実施前の平成29年12月21日(木)に千葉県千葉市(京葉銀行文化プラザ音楽ホール)で国民保護研修会を開催する。



平成29年度 国民保護研修会 in 千葉  
**オリンピック・パラリンピックを見据えたテロ対策**  
 ～大規模集客施設におけるテロへの備え～

千葉県では、平成29年度に国民保護共同実動訓練を実施します。これに先立ちまして、関係者の方はもとより一般市民のみならずにも、テロ等の災害が発生した場合の避難、救援活動等をご理解いただくために研修会を開催します。

開催日時 .....

**12月21日(木)**

17:30～19:10(17:00 開場)

会場 .....

京葉銀行文化プラザ 音楽ホール

プログラム .....

- 主催者あいさつ
- パネルディスカッション
  - ・出演者による発表
  - ・フリーディスカッション
  - ・まとめ

**入場無料**

一般公開  
事前登録制



アクセス ※この車場の場合は、公共交通機関をご利用ください  
 【JR・京成・モノレール】  
 ・JR千葉駅・京成千葉駅・千葉都市モノレール千葉駅より徒歩3分

パネリスト



横田 真二  
内閣官房  
内閣副長官



横山 正博  
千葉県  
防災危機管理部長



崎村 文彦  
千葉県防災医療センター  
主任医長



長嶋 信之  
(株)幕張メッセ  
常務取締役 事業本部長



越野 修三  
慶応大学防災研究センター  
客員教授

コーディネーター

**お申し込み方法** 本チラシの裏面が申込用紙となっておりますので、必要事項を記入の上、FAXでお申し込みください。(平成29年12月15日必着)  
 また、インターネットからも申し込むことができますので、本チラシの裏面に記載の内閣官房国民保護ポータルサイトを確認ください。  
 ※ご入場の際は、事前登録が必要となります。FAXでお申し込みの方は、ご連絡いただきました申込用紙を当日会場にご持参ください。  
 国民保護ポータルサイトからお申し込みいただいた方には、登録番号をお知らせしますので、当日その番号を受付でお申し出ください。  
 ※応募者多数の場合は、お申し込みの順の先着順とさせていただきますので、ご了承くださいませようお願いします。

お申し込みは、内閣官房 国民保護ポータルサイトお申し込みページ又は裏面 FAX 用紙にて。

内閣官房 国民保護研修会 セミナー  

<http://www.kokuminhogo.go.jp/torikumi/forum.html>

主催：内閣官房/千葉県/千葉市

## 2 訓練の流れ（シナリオ）

### 【用語の定義】

赤タグ：緊急治療が必要な重症患者（緊急治療群）

黄タグ：入院を要する中等症の患者（準緊急治療群）

緑タグ：入院を要しない軽症の患者（非緊急治療群）

黒タグ：救命不能群

被災者：災害に遭った者（化学剤非曝露者も含む）

表 1 訓練全体の流れ

時間	発災現場等	医療機関	県庁・市役所	政府
10:00	<p>幕張イベントホール2階南側通路 付近でサリン散布事案発生</p> <p>施設管理者等による初動措置 消防、警察による情報収集、応援 要請、進入統制等</p> <p>犯行声明及びテロ予告</p> <p>被災者の救出・救助開始 消防によるNBC検知 ゾーニング開始</p>	<p>被災者受入準備</p> <p>CLDMAT・日 赤救護班派遣</p>	<p>国民保護等緊急対策 本部設置 市警戒本部設置</p> <p>自衛隊に災害派遣、 関係機関に応援要請</p>	<p>官邸対策室設置 緊急参集チーム招集</p>
10:30	<p>現地調整所開設 除染前トリアージ 除染開始</p> <p>ワールドビジネスガーデンで不審 物（爆発物）発見</p>			
11:00	<p>CLDMAT順次到着 避難所設置</p>			
11:30	<p>重症者の救急搬送・ヘリ搬送開始</p> <p>発災現場の除染開始 避難所被災者（ワールドビジネス ガーデン）受入れ開始</p>	<p>被災者順次受入 医療処置</p>		<p>国家安全保障会議 臨時閣議 緊急対処事態の認定</p>
12:00	<p>不審物（爆発物）の回収完了</p>		<p>緊急対処事態対策本 部設置</p>	<p>緊急対処事態対策本 部設置</p>
12:30	<p>軽症者のバス搬送</p>			
13:00	<p>発災現場の除染完了</p>		<p>合同対策協議会への 参加</p>	<p>合同対策協議会開催</p>
13:30	<p>訓練終了</p>			

青字は仮想の動きで、実動による訓練は実施しない。

### 3 各サイトにおける訓練内容等

(1) 幕張メッセ（幕張イベントホール）における訓練（表2参照）

ア 初動対処訓練

・ゾーニング

発災現場における原因物質の特性、危険度等に応じて、幕張イベントホール周辺に危険区域（ホットゾーン）、準危険区域（ウォームゾーン）及び警戒区域（コールドゾーン）を設定する。

・被災者（要配慮者含む）の避難誘導、救出・救助

被災者（要配慮者含む）の避難誘導及び救出・救助を実施する。

・施設管理者等による初動措置

発災直後の初期対応として、施設管理者等が通報、被災者の誘導を実施する。

・周辺広報、交通規制等

幕張イベントホール周辺における広報活動、交通規制及び立入禁止活動を実施する。

イ 除染、応急救護訓練

・除染前トリアージ

化学剤の付着状況により、除染方法を決定する。

・除染処置（乾的・水的除染）

除染エリアを設置し、衣服や体表に付着した化学剤を乾的除染（脱衣、清拭）又は水的除染（洗浄）により除去する。

・搬送トリアージ（生理学的、解剖学的トリアージ）

現場救護所の体制等を踏まえ、搬送トリアージポストにおいて患者の搬送の順位付けを行う。

・救護処置

現場救護所において、呼吸・気道の安定維持、痙攣管理などを目的に応急救護を行う。

ウ 被災者搬送訓練

・救急搬送

被災者（赤タグ及び黄タグ）を救急車により、県内医療機関へ搬送する。

・ヘリ搬送

被災者（赤タグ）を発災現場近傍の臨時ヘリポートから県内医療機関へ搬送する。

・事態認定下におけるバス搬送

被災者（緑タグ）を自衛隊の誘導により県内医療機関に搬送する。

エ 現地調整所運営訓練

関係機関（千葉県、千葉市、幕張メッセ、警察、消防、自衛隊、海上保安庁、CLDMAT）の活動調整を行うため、千葉市が統制する現地調整所を設置・運営する。

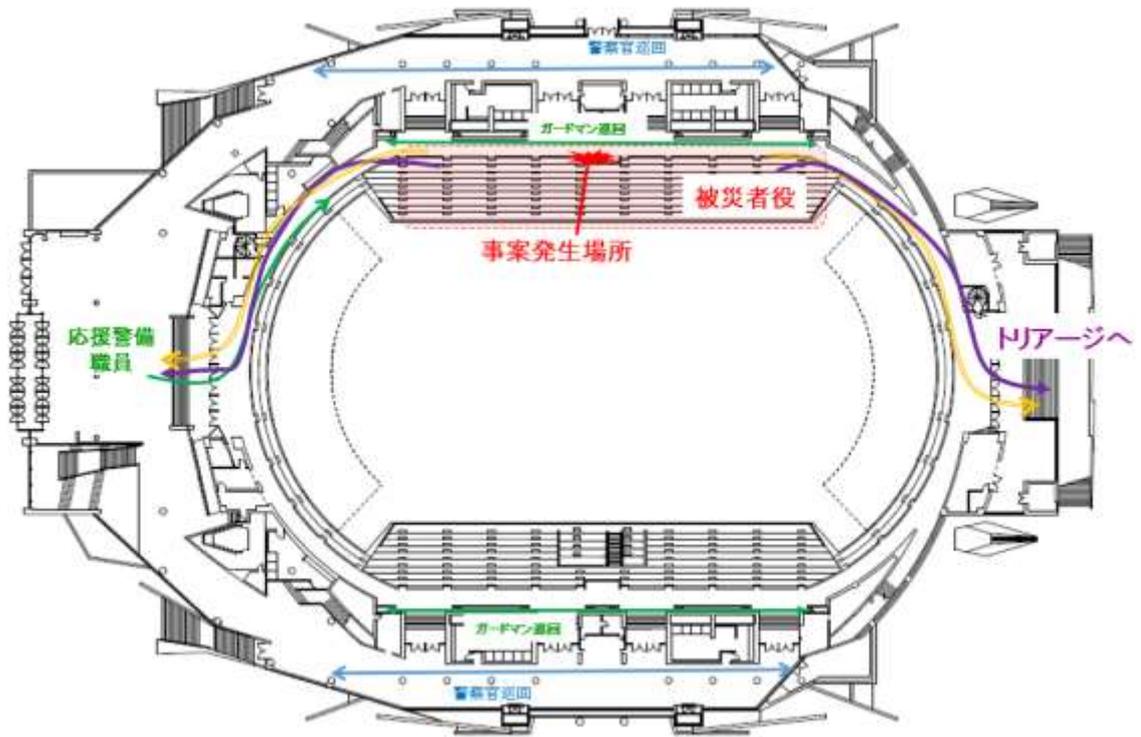
表2 幕張メッセ（幕張イベントホール）における訓練の流れ

時刻	行動等
10:00	<p>幕張イベントホール2階南側通路付近でサリン散布事案発生</p> <p>施設管理者等による初動措置（通報、避難誘導）</p> <p>消防、警察による対応開始（情報収集、応援要請等）</p> <p>消防現場指揮本部設置</p> <p>消防による進入統制ライン設定</p> <p>被災者の救出・救助開始</p> <p>消防によるNBC簡易検知</p> <p>ゾーニング開始</p>
10:30	<p>現地調整所開設</p> <p>警察NBCテロ対応専門部隊進入開始</p> <p>除染前トリアージ</p> <p>除染開始</p>
11:00	<p>CLDMAT順次到着</p> <p>被災者（赤タグ・黄タグ）の救急搬送開始</p>
11:30	<p>被災者（赤タグ）のヘリ搬送開始</p> <p>自衛隊による発災現場の除染開始</p>
12:00	
12:30	<p>被災者（緑タグ）のバス搬送開始</p>
13:00	<p>自衛隊による発災現場の除染完了</p>
13:30	<p>訓練終了</p>

青字は仮想の動きで、実動による訓練は実施しない。

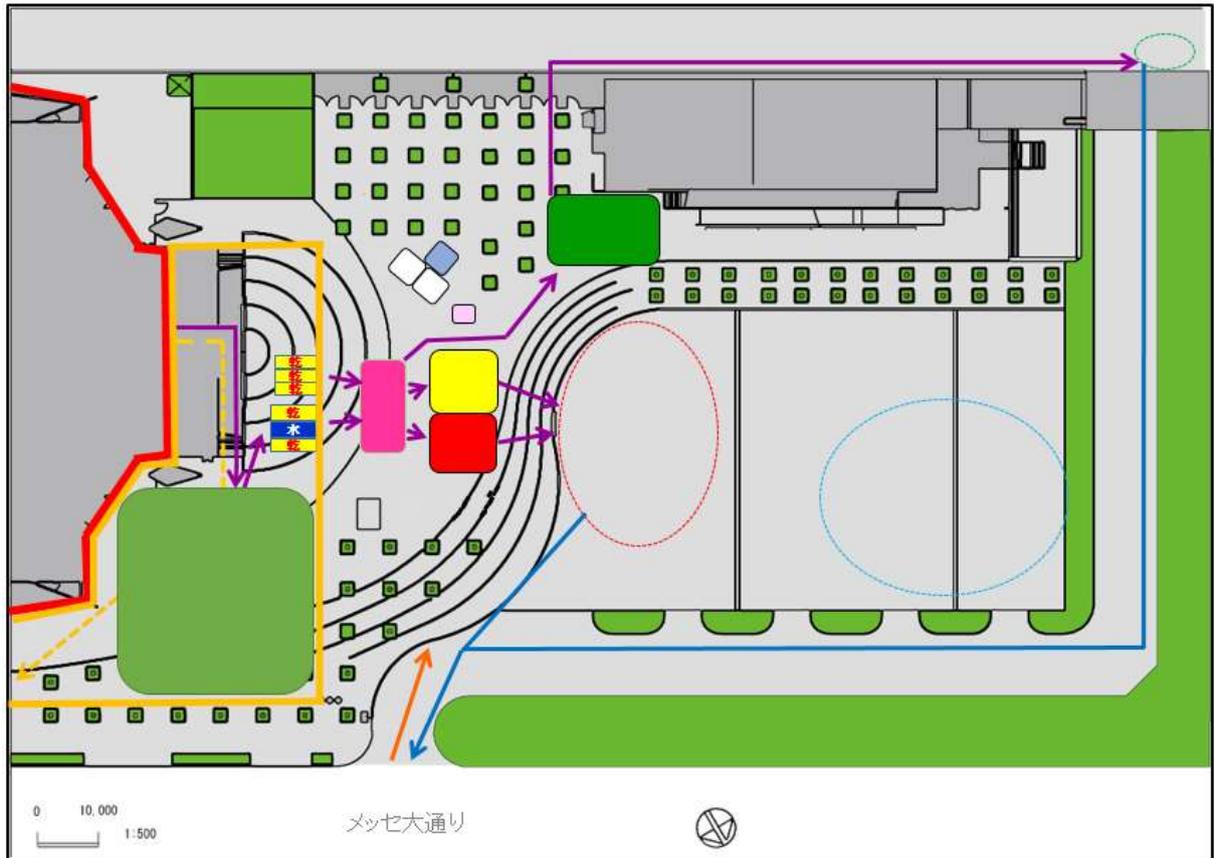


図2 幕張メッセ等における活動図（全体図）



凡例	
	化学剤散布位置
	被災者動線
	自主避難者動線
	来場者(被災者)位置
	応援警備員動線

図3 幕張イベントホール等における活動図（施設内2階）



凡例			
	危険区域(ホットゾーン)		車両動線(退場)
	準危険区域(ウォームゾーン)		救急車乗車位置
	バス乗車位置		乾的除染テント
	車両停車位置		水的除染テント
	関係機関指揮所		除染前トリアージポスト
	現地調整所		搬送トリアージポスト
	救急指揮所		現場救護所(赤タグ)
	被災者誘導・搬送動線		現場救護所(黄タグ)
	自主避難者経路		現場救護所(緑タグ)
	車両動線(入場)		

図4 幕張イベントホール等における活動図(施設外)

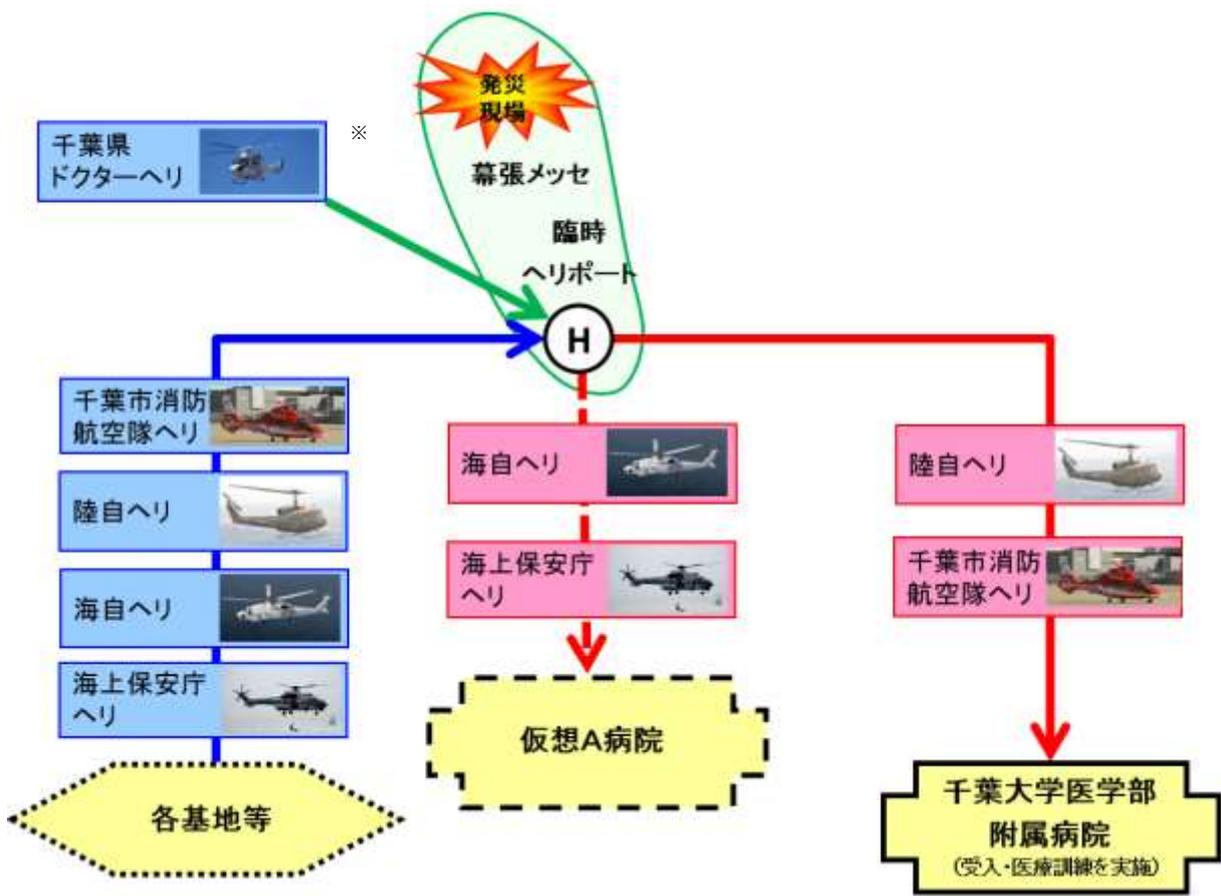
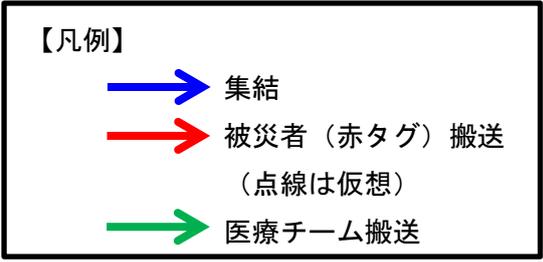


図5 航空搬送図

※朝日航洋株式会社提供

【参考】訓練イメージ（これまでに実施された訓練の記録写真）



NBCの検知（H26 福岡）



発災現場への進入（H28 京都）



被災者の救助（H27 北海道）



除染（H26 福岡）



現場での応急処置（H24 滋賀）



重症者のヘリ搬送（H28 京都）



現場での除染（H25 青森）



現地調整所（H27 北海道）

(2) ワールドビジネスガーデンにおける訓練 (表3 参照)

ア 初動対処訓練

- ・千葉市が施設管理者、消防、警察と連携して被災者の避難を実施する。
- ・警察爆発物処理班による不審物 (爆発物) の回収を実施する。
- ・ワールドビジネスガーデン周辺における広報活動、交通規制及び立入禁止活動を実施する。

イ 被災者搬送訓練

- ・バス搬送  
被災者を指定地方公共機関のバス等により避難所へ搬送する。

表3 ワールドビジネスガーデンにおける訓練の流れ

時刻	行動等
10:00	幕張イベントホール2階南側通路付近でサリン散布事案発生
	ワールドビジネスガーデンで不審物 (爆発物) 発見
11:00	避難に関する広報 避難所への被災者の搬送開始 不審物 (爆発物) の回収開始
12:00	不審物 (爆発物) 回収完了
13:00	
13:30	訓練終了

青字は仮想の動きで、実動による訓練は実施しない。

【参考】訓練イメージ (これまでに実施された訓練の記録写真)



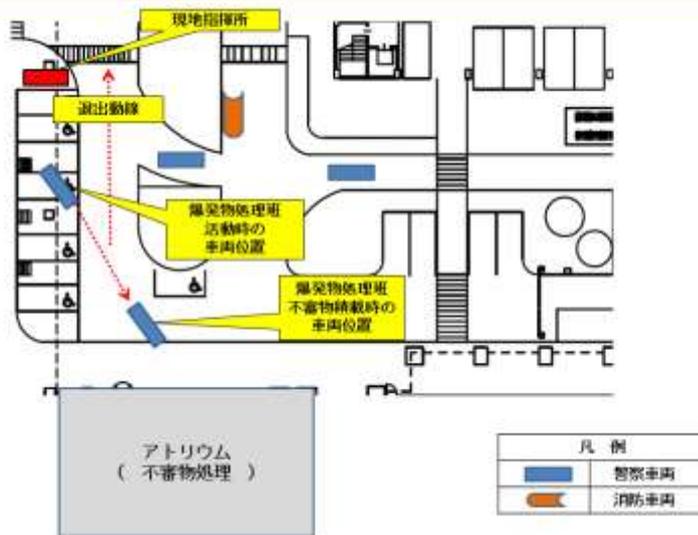
避難訓練 (H24 滋賀)



爆発物処理訓練 (H29 鹿児島)



ワールドビジネスガーデンでの車両配置



アトリウムでの不審物設定場所・立ち入り禁止区域

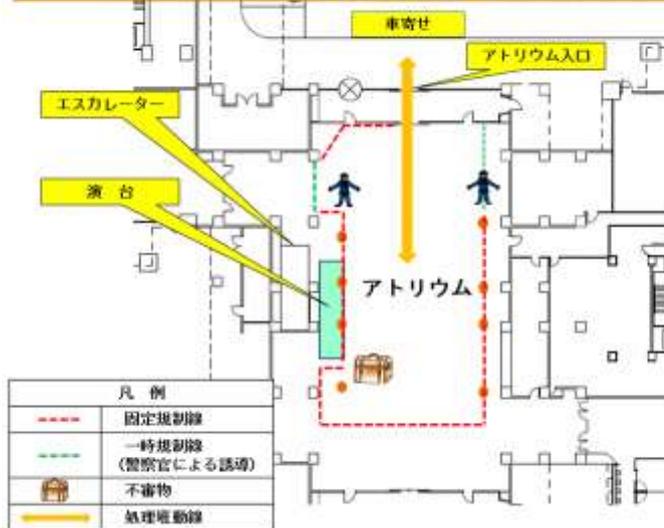


図6 ワールドビジネスガーデンにおける活動図

(3) 医療機関における訓練 (表 4 参照)

ア 被災者受入訓練

- ・被災者 (化学剤曝露者) の受入準備

多数の被災者に対応する医師及び医療スタッフの確保・配置、医療資機材等の事前準備を行う。

- ・被災者 (化学剤曝露者) の収容

ヘリ又は救急車により順次搬送されるほか、自力で来院する被災者の収容を実施する。

イ 医療救護訓練

収容された被災者に対し、医療処置を実施する。

ウ 遺族等支援訓練 (※千葉県救急医療センターで実施)

死亡した被災者の遺族等の対応を行う。

表 4 医療機関における訓練の流れ

時刻	行動等
10:00	幕張イベントホール2階南側通路付近でサリン散布事案発生  院内対策本部設置《千葉県救急医療センター》 被災者受入準備開始  CLDMAT・日赤救護班派遣
11:00	自力来院者対応《千葉県救急医療センター》 救急搬送された被災者 (赤タグ・黄タグ) 順次到着、収容・医療処置を実施《千葉県救急医療センター、千葉大学医学部附属病院》 ヘリ搬送された被災者 (赤タグ) 順次到着、収容《千葉大学医学部附属病院》 遺族等支援の実施《千葉県救急医療センター》 その他の被災者 (赤タグ・黄タグ・緑タグ) は県内医療機関に順次収容・医療処置
12:00	
13:00	
13:30	訓練終了

青字は仮想の動きで、実動による訓練は実施しない。



【参考】訓練イメージ（これまでに実施された訓練の記録写真）



病院での受入（H23 長崎）



病院での受入（H24 山形）



病院での受入（H28 京都）



病院での医療処置（H27 北海道）



病院での医療処置（H25 青森）



病院での遺族支援（H28 京都）

(4) 幕張コミュニティセンターにおける訓練 (表5参照)

救援訓練 (避難所運営訓練)

- ・ 避難所の供与  
被災者を収容する避難所を決定し、周知して運営を行う。
- ・ 給食  
備蓄物資による食事の温食提供を行う。
- ・ 被災者の心身への配慮  
被災者の不安を軽減するために事案対応状況の情報を提供する。  
多言語支援コーナーを設け、日本語に不慣れな外国人を支援する。
- ・ 安否情報収集  
被災者の安否情報を収集し、集約を行う。

表5 幕張コミュニティセンターにおける訓練の流れ

時刻	行動等
10:00	幕張イベントホール2階南側通路付近でサリン散布事案発生
	ワールドビジネスガーデンで不審物(爆発物)発見
11:00	保健師到着 避難所設置 順次、被災者の受入れ 安否情報収集、被災者の心身への配慮等
12:00	給食
13:30	訓練終了

◀ 幕張コミュニティセンター（体育館）の避難所使用レイアウト ▶

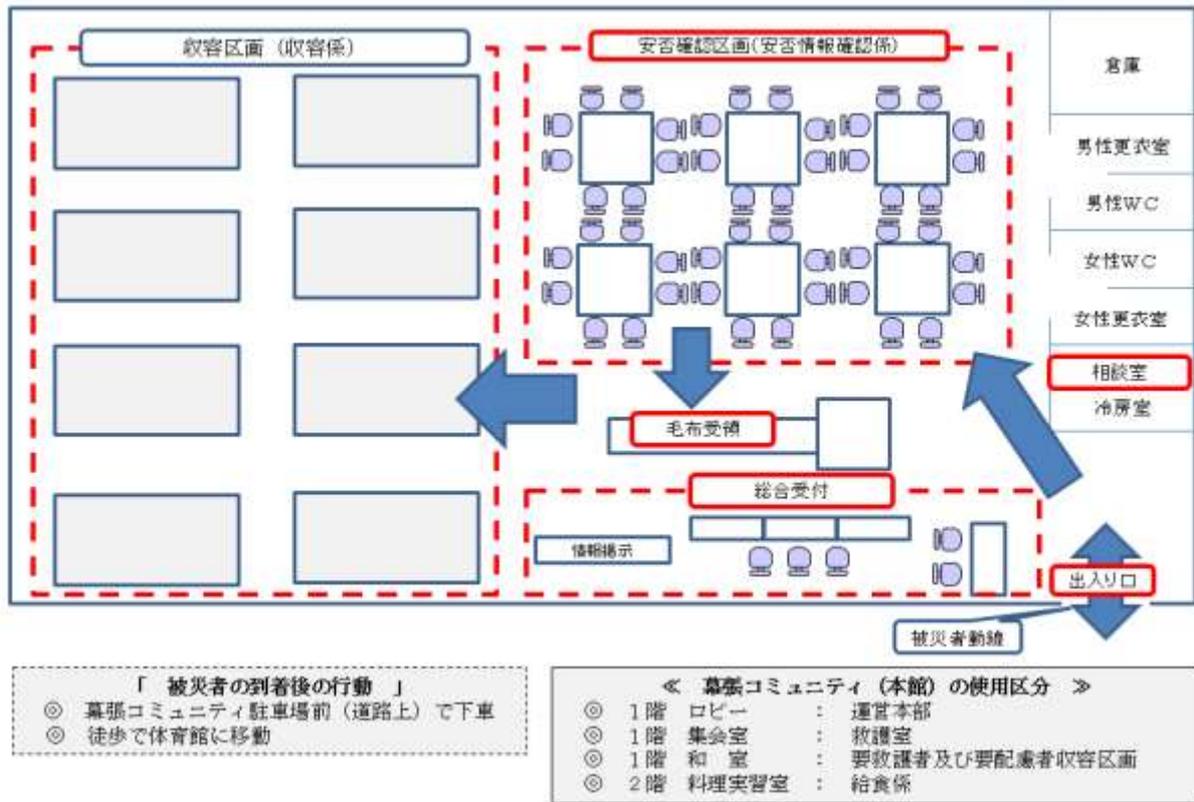


図9 幕張コミュニティセンターにおける活動図

【参考】訓練イメージ（これまでに実施された訓練の記録写真）



被災者の受付（H22 茨城）



安否情報の収集（H27 北海道）



避難した被災者（H25 青森）



避難した地域住民（H24 滋賀）



避難所での医療救護（H26 福岡）



炊き出し（H24 山形）



避難所での外国人対応（H28 京都）



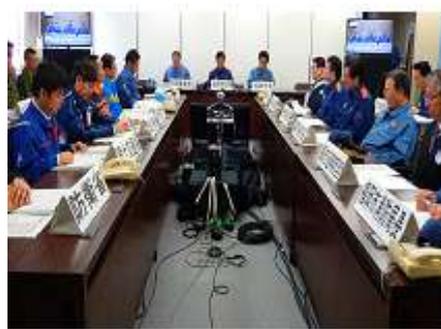
避難所での医療救護（H28 京都）

(5) 千葉県総合教育センターにおける訓練

合同対策協議会運営訓練

政府、千葉県、千葉市及び関係機関等による合同対策協議会を開催し、今後の対応課題等について、協議・情報共有を行う。

【参考】訓練イメージ（これまでに実施された訓練の記録写真）



合同対策協議会（H26 福岡）



合同対策協議会（H27 北海道）



合同対策協議会（H28 京都）

## 参考1 過去に実施した国民保護共同実動訓練について

### (1) 京都府国民保護共同実動訓練（平成28年度）

#### ア 主催者

内閣官房、京都府、京都市

#### イ 実施年月日

平成29年2月2日（木）

#### ウ 訓練想定

京都競馬場で開催される国際競争レースに際し、1階投票所付近で待機していた観客の列に化学剤「サリン」が散布され、多数の死傷者が発生する。その後犯行グループは京都市営地下鉄市場駅及び京都国際会館での爆破テロを予告する。



被災者の救出・救助



現地調整所



現場での除染



ヘリによる被災者搬送



病院における被災者受入



合同対策協議会

(2) 北海道国民保護共同実動訓練（平成27年度）

ア 主催者

内閣官房、北海道、旭川市

イ 実施年月日

平成27年11月19日（木）

ウ 訓練想定

旭川市東光スポーツ公園旭川ドリームスタジアムで開催されるイベントに際し、入場を待つ観客の列に化学剤「サリン」が散布され、多数の死傷者が発生する。その後、犯行グループは道内各地で爆破テロを起こし、さらに新たなテロを予告する。



ゾーニング



乾的除染



現場での除染



現場での応急救護



病院における被災者受入



避難所における医療救護

## 参考2 国民保護あれこれ

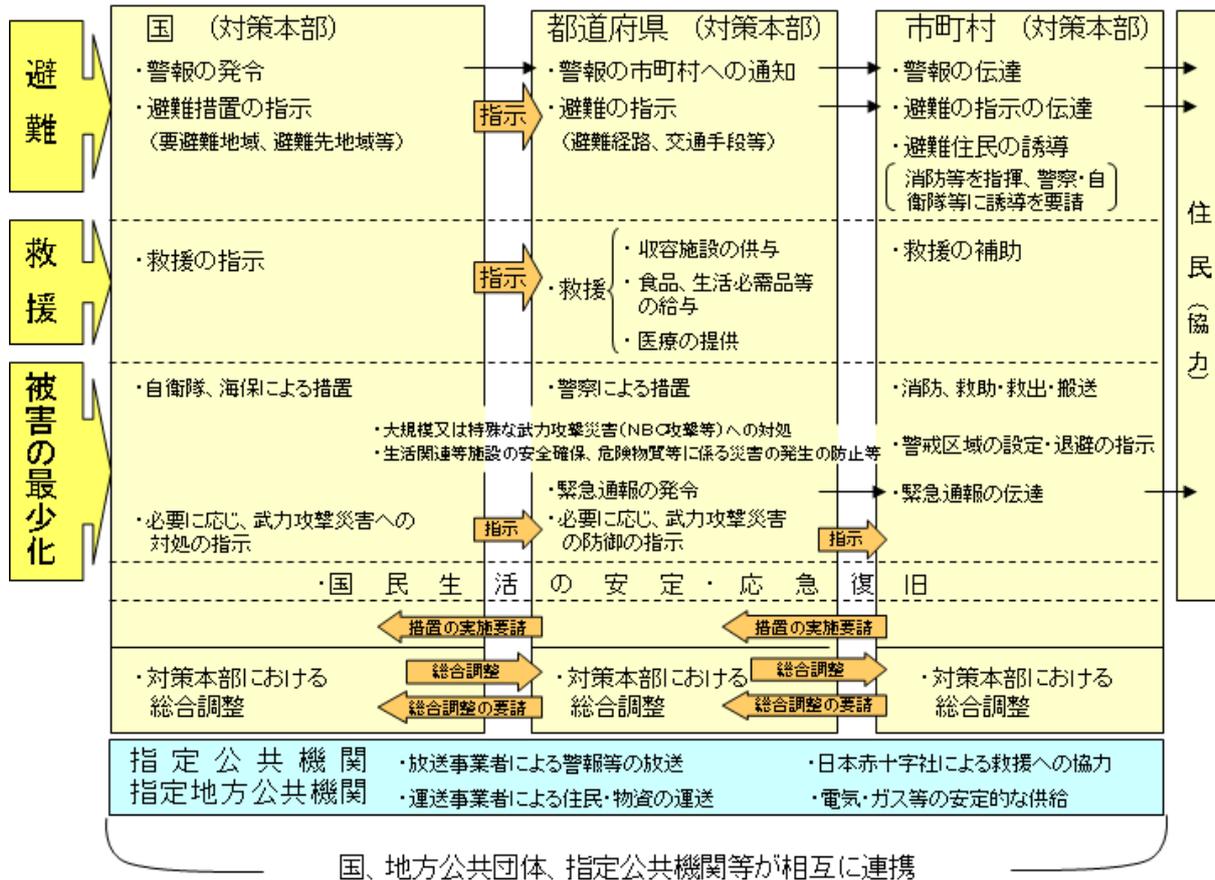
### 国民保護法とは

平成16年9月、我が国に対する外部からの武力攻撃などにおいて、国民の生命、身体及び財産を保護することなどを目的とした国民保護法（武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律）が施行されました。

国民保護法においては、国は、武力攻撃やテロなどから国民の生命、身体又は財産を保護するため緊急の必要があるときは、警報を発令して、みなさんに危険な状態になったことをお知らせすることとなっています。そして、国をはじめ、都道府県、市町村などの関係機関が、国民の保護のために情報の提供や避難の誘導、避難所の開設、救援物資の配布、救助活動、医療活動などの措置に迅速かつ全力を挙げて対応することとしています。

# 武力攻撃事態等における国民の保護のための仕組み

国民の保護のための措置は大きく、避難、救援、被害の最小化の3つから構成されます。



## 避難の仕組み

- 国は、武力攻撃から国民の生命、身体又は財産を保護するため緊急の必要があると認めるときは、警報を発令して、直ちに都道府県知事に通知します。さらに、住民の避難が必要なときは都道府県知事に対して、住民の避難措置を講ずるよう指示します。
- これを受け、都道府県知事は、警報の通知や避難の指示を行います。そして、放送や市町村の防災行政無線を通じて、みなさんに情報が伝達されます。

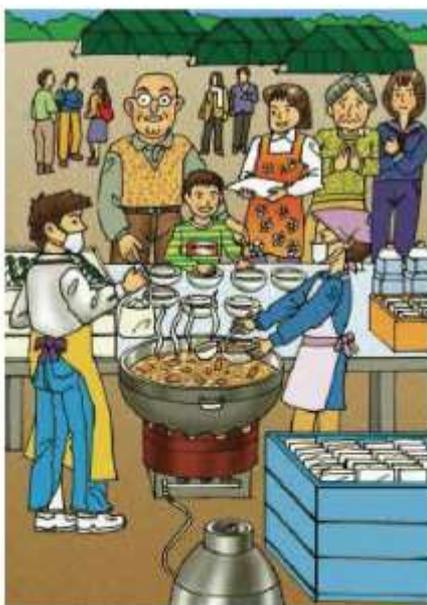


## 救援の仕組み

- 救援活動は、都道府県知事が中心となって、市町村や日本赤十字社と力を合わせて実施します。

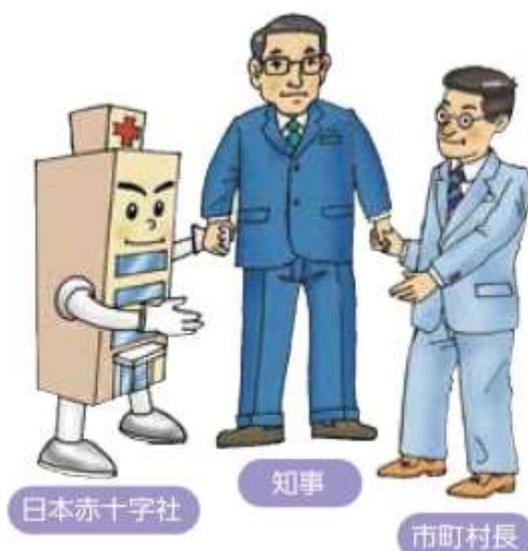
### 避難場所や医療の提供

避難してきた人々に宿泊場所や食品、医薬品などを提供



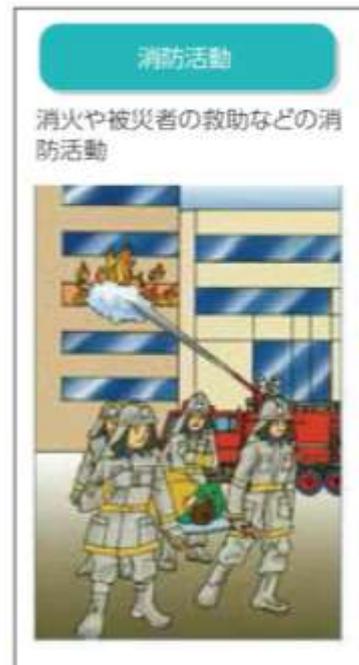
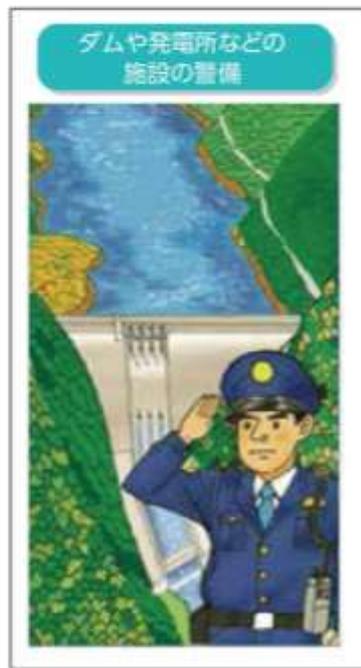
### 安否情報の収集や提供

行方不明になったり家族と離ればなれになった人たちのために安否情報の収集や提供を行う



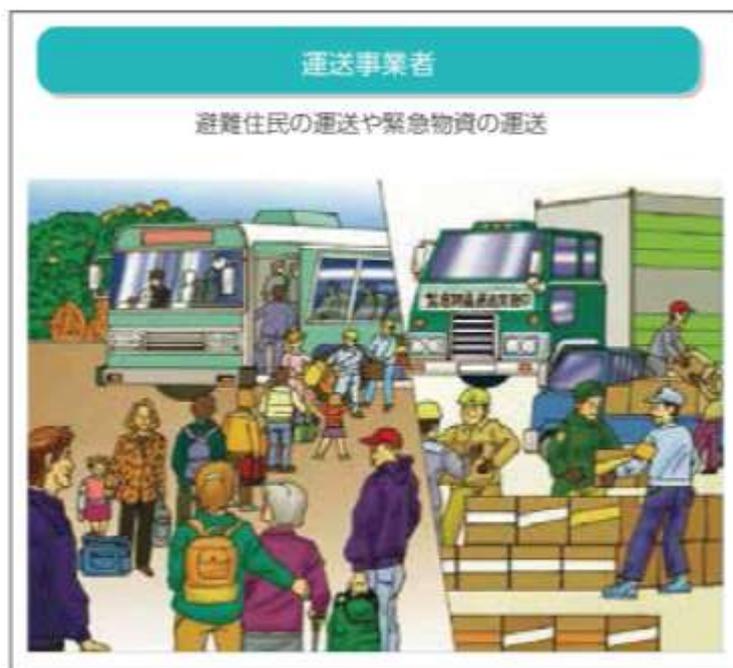
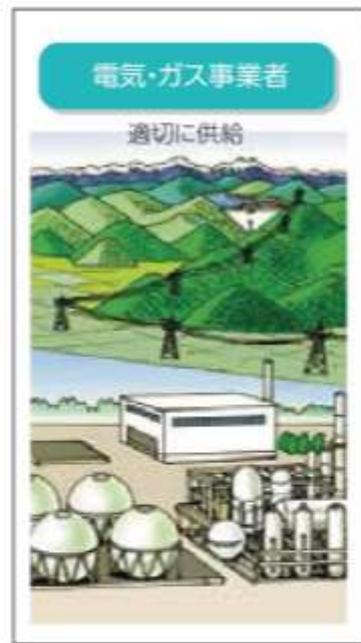
## 被害の最小化

- 武力攻撃に伴う被害をできるだけ小さくするために、国と地方公共団体が一体となって対処します。



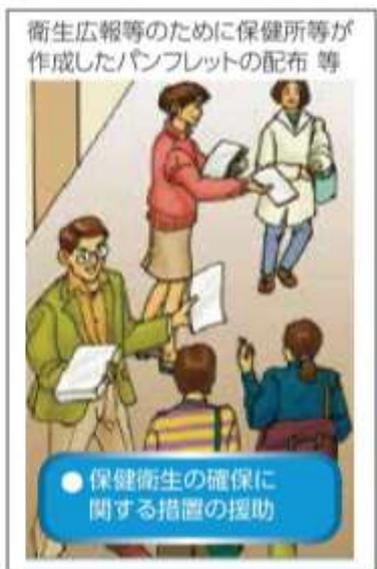
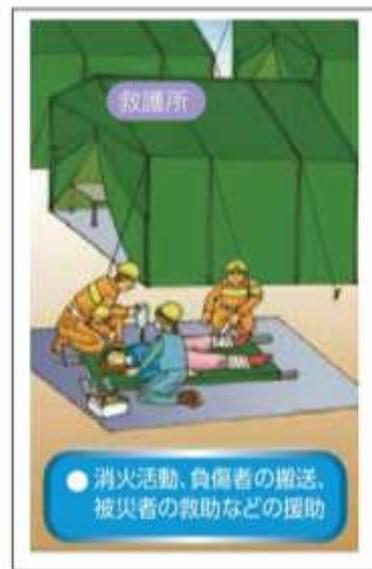
## 指定公共機関の役割

- 指定公共機関とは、国や地方公共団体と協力して、国民の保護のための措置を実施する機関のことをいいます。日本赤十字社や日本放送協会（NHK）などの公共的機関や、電力会社やガス会社などの公益的事業を営む法人が、政令等で指定されています。
- 指定公共機関には、警報の放送や避難住民の運送など各々の業務に係る役割を果たしていただきます。



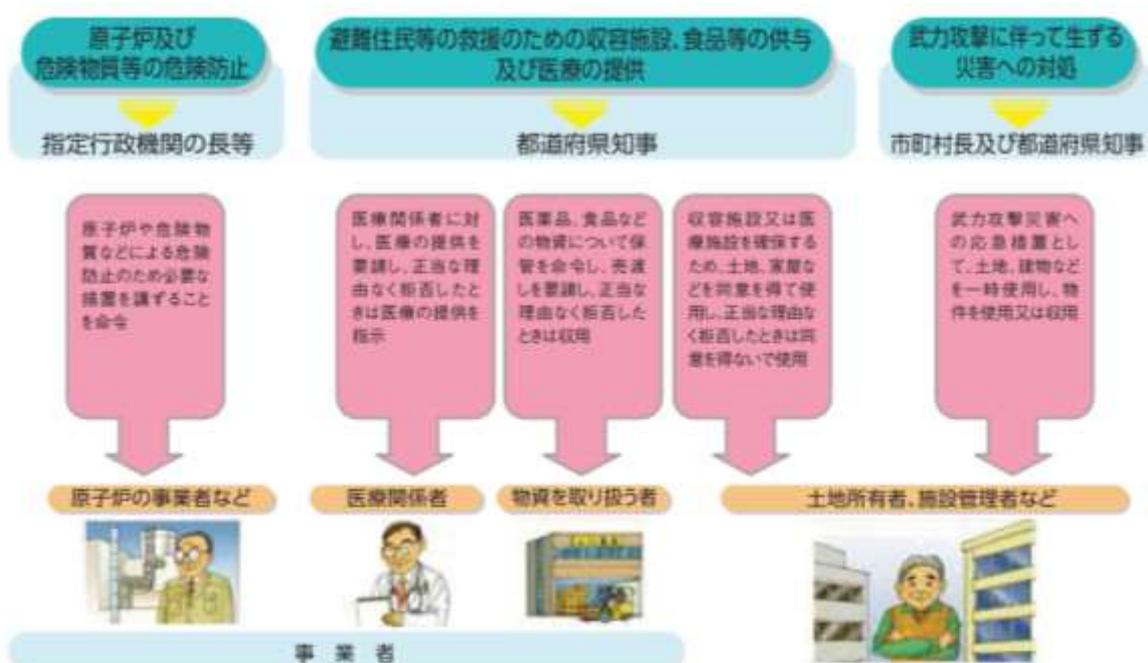
## 国民の協力

- 国民保護法では、「国民は、国民の保護のための措置の実施に関し協力を要請されたときは、必要な協力をするよう努めるものとする」、「国民の協力は国民の自発的な意思にゆだねられるものであって、その要請に当たって強制にわたることがあってはならない」とされています。
- 国や地方公共団体は、協力の要請を行う場合は、安全の確保に十分配慮しなければなりません。さらに、武力攻撃事態等において要請に基づく協力により国民が死亡・負傷等した場合は、その損害を補償します。また、住民の自主的な防災組織やボランティアによる国民の保護のための活動に対し、必要な支援を行います。



## 国民の権利および義務に関する措置

- 国民保護法においては、「国民の保護のための措置を実施するに当たっては、日本国憲法の保障する国民の自由と権利が尊重されなければならない」、「国民の自由と権利に制限が加えられるときであっても、その制限は当該国民の保護のための措置を実施するため必要最小限のものに限られ、かつ、公正かつ適正な手続の下に行われるものとし、いやしくも国民を差別的に取り扱い、並びに思想および良心の自由並びに表現の自由を侵すものであってはならない。」とされており、この原則に基づき、国民の権利および義務に関する措置については、限定的に規定されています。



## 武力攻撃事態の類型ごとの特徴

武力攻撃事態の想定は、武力攻撃の手段、その規模の大小、攻撃パターンなどにより異なることから、どのようなものとなるかについて一概にはいえませんが、国民の保護に関する基本指針においては、下記の4つの類型を想定し、国民の保護のための措置の実施にあたって留意すべき事項を明らかにしています。

### 着上陸侵攻



#### ■特徴

- 船舶により上陸する場合は、沿岸部が当初の侵攻目標となりやすい。
- 航空機による場合は、沿岸部に近い空港が攻撃目標となりやすい。
- 国民保護措置を実施すべき地域が広範囲にわたるとともに、期間が比較的長期に及ぶことも想定されます。

### 弾道ミサイル攻撃



#### ■特徴

- 発射前に着弾地域を特定することが極めて困難であり、短時間での着弾が予想されます。
- 弾頭の種類(通常弾頭であるのか、核・生物・化学弾頭であるのか)を着弾前に特定するのが困難であり、弾頭の種類に応じて、被害の様相や対応が大きく異なります。

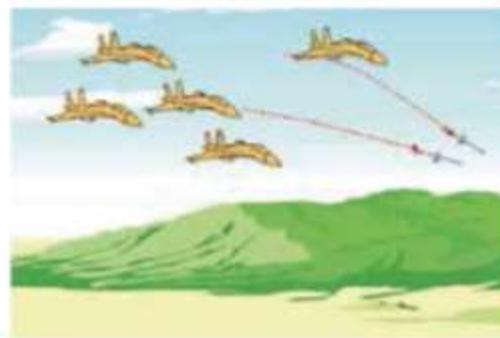
### ゲリラ・特殊部隊による攻撃



#### ■特徴

- 突発的に被害が発生することも考えられます。
- 被害は比較的狭い範囲に限定されるのが一般的ですが、攻撃目標となる施設(原子力事業所などの生活関連等施設など)の種類によっては、被害が拡大する恐れがあります。
- 核・生物・化学兵器や放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾(ダーティボム)が使用されることも想定されます。

### 航空攻撃



#### ■特徴

- 弾道ミサイル攻撃の場合に比べ、その兆候を察知することは比較的容易ですが、予め攻撃目標を特定することが困難です。
- 都市部の主要な施設やライフラインのインフラ施設が目標となることも想定されます。

## 緊急処理事態とは

武力攻撃の手段に準ずる手段を用いて多数の人を殺傷する行為が発生した事態または当該行為が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態で、国民の生命、身体及び財産を保護するため、国家として緊急に対処することが必要な事態をいいます。

攻撃の対象施設や攻撃の手段の種類により、以下に示すような事態例が考えられています。

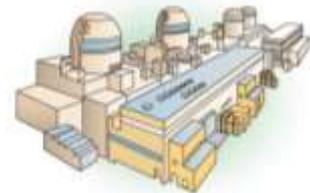
### ～攻撃対象施設等による分類～

危険性を内在する物質を有する施設等に対する攻撃が行われる事態

〈事態例〉

#### 原子力事業所などの破壊

大量の放射性物質などが放出され、周辺住民が被ばくするとともに、汚染された飲食物を摂取した住民が被ばくします。



#### 石油コンビナート、可燃性ガス貯蔵施設などの爆破

爆発・火災の発生により住民に被害が発生するとともに、建物やライフラインなどの被災により、社会経済活動に支障が生じます。



#### 危険物積載船などへの攻撃

危険物の拡散により沿岸住民への被害が発生するとともに、港湾や航路の閉塞、海洋資源の汚染など、社会経済活動に支障が生じます。



多数の人が集合する施設及び大量輸送機関等に対する攻撃が行われる事態

〈事態例〉

#### 大規模集客施設、ターミナル駅などの爆破

爆破による人的被害が発生し、施設が崩壊した場合は被害が多大なものとなります。



## ～攻撃手段による分類～

多数の人を殺傷する特性を有する物質等による攻撃が行われる事態

### 〈事態例〉

放射性物質を散布することにより、放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾  
(ダーティボム)

爆弾の破片や飛び散った物体による被害、熱や炎による被害などが発生し、放射線によって正常な細胞機能が攪乱されると、後年、ガンを発症することもあります。



### 生物剤の大量散布

人に知られることなく散布することが可能です。また、発症するまでの潜伏期間に、感染した人々が移動し、後に生物剤が散布されたと判明した場合には、既に広域的に被害が発生している可能性があります。ヒトを媒体とする天然痘などの生物剤による攻撃が行われた場合には、二次感染により被害が拡大することが考えられます。

### 化学剤の大量散布

地形・気象などの影響を受けて、風下方向に拡散し、空気より重いサリンなどの神経剤は下をはうように広がります。

破壊の手段として交通機関を用いた攻撃等が行われる事態

### 〈事態例〉

航空機などによる自爆テロ

爆発・火災などの発生により住民に被害が発生するとともに、建物やライフラインなどが被災し、社会経済活動に支障が生じます。



## J-ALERTとEm-Net

平成29年8月29日及び9月15日、北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、北海道上空を通過し、太平洋上に落下したと推定される事案がありました。

この際、内閣官房は、J-ALERT(全国瞬時警報システム)を活用して、弾道ミサイルの発射情報や通過情報を、市町村の防災行政無線や緊急速報メール等により、関係のある地域の住民の方々に直接、音声などでお知らせしました。

また、それとあわせて、Em-Net(緊急情報ネットワークシステム)を利用して、全国の地方公共団体などの関係機関に緊急情報を文字情報で伝達しました。

このように我が国に影響があり得る弾道ミサイルが発射された場合は、J-ALERT や Em-Net によって発射情報と、通過した場合は通過情報等の緊急情報(万が一、領域内に落下する可能性がある場合は発射情報と、落下予測情報等)を伝達しますが、この際、防災行政無線については、特別なサイレン音を使用せず、市町村が通常使用しているサイレン音を使用する場合があります。

内閣官房は、武力攻撃事態や緊急対処事態等が発生した場合、J-ALERT と Em-Net を活用して、みなさんに緊急情報を提供いたします。

万が一、弾道ミサイルの着弾が予想される事態が発生した時には、安全のため、近くの建物の中か地下などに速やかに避難してください。



# 弾道ミサイル 落下時の行動

国民保護  
ポータルサイト



ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、国は「Jアラート」を活用して防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージを流すほか、緊急速報メール等による情報提供を行います。

## Jアラート



**【例】直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。**

もしメッセージが流れたら  
落ち着いて、直ちに行動して下さい。

屋外に  
いる場合

### 近くの建物の中や地下に 避難する。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が  
ない場合

### 物陰に身を隠すか、 地面に伏せて頭部を守る。

屋内に  
いる場合

### 窓から離れるか、 窓のない部屋に移動する。

近くに  
ミサイル  
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

政府の最新情報は  
こちらをチェック



首相官邸  
ホームページ  
[www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/)



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
[@Kantei\\_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)

参考3 国民保護ポータルサイト

内閣官房 国民保護ポータルサイト  
Cabinet Secretariat Civil Protection Portal Site

- ※ はじめに
- ※ 国民保護法とは
- ※ 国民保護の仕組み
- ※ 武力攻撃事態の類型
- ※ 緊急対処事態とは
- ※ 情報伝達の手段
- ※ 警報のサイレン
- ※ 有事関連法制について
- ※ 武力攻撃やテロなどから身を守るために(パンフレット)
- ※ 参考資料
- ※ 国民保護訓練
- ※ 訓練の記録映像
- ※ 国民保護研修会
- ※ 避難施設
- ※ 国民保護計画・国民保護業務計画
- ※ リンク集
- ※ 国民保護用語集
- ※ お問い合わせ



○国民保護法とは  
 ・避難の仕組み、救援の仕組み  
 ・武力攻撃事態の類型、緊急対処事態とは  
 ・警報のサイレン など

○国民保護訓練  
 これまでに実施した訓練の概要

○有事関連法制について  
 国民保護法、国民の保護に関する基本指針など

○訓練の記録映像  
 主な実動訓練の記録映像

○武力攻撃やテロなどから身を守るために  
 避難にあたっての留意点など

○その他  
 関係機関の計画、都道府県避難施設一覧、国民保護研修会の概要、国民保護用語集、参考資料

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

武力攻撃やテロなどから身を守るために

知っておこう、備えておこう。

内閣官房

国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

